

## 【講演】「夢への挑戦 ～ 人生を変えた多くの出会い」



**京谷 和幸氏** 45歳 北海道室蘭市出身  
JFA公認B級コーチライセンス(2016年取得)  
城西国際大学サッカー部コーチ  
車椅子バスケットボール日本代表アシスタントコーチ・U-23ヘッドコーチ  
〔サッカー〕 室蘭大谷高校時代 国体3位、高校選手権優秀選手  
1989・90年 日本ユース代表、バルセロナオリンピック代表候補  
1991年 ジェフユナイテッド市原入団  
1993年 交通事故により引退  
〔車椅子バスケットボール〕 1994年より千葉ホークス所属  
全国大会8回優勝、全日本選手権「ベスト5」6回・「MVP」1回受賞  
シドニーからロンドンまで4大会連続パラリンピック出場  
世界選手権2回、アジア大会2回出場(2010年広州アジア大会優勝)  
2012年 現役引退

小学2年生からサッカーを始め、室蘭大谷高校で日本ユース代表に選出。ジェフ市原とのプロ契約。1993年Jリーグ開幕後、結婚式の衣装合わせの日に交通事故で車椅子生活となる。その後、車椅子バスケットボールに出会い、2000年のシドニーパラリンピックから日本代表として4大会連続でパラリンピックへ出場。2012年現役引退後、車椅子バスケットボールやサッカーの指導者としてスポーツ界に貢献。

本研修会は、サッカー選手として将来を嘱望されていた矢先の事故で、失意のどん底から周りの励みや様々な人との出会いを通して、車椅子バスケットボール日本代表の中心選手として復活を果たすまでの体験談に加え、指導者目線での選手育成やスポーツ環境の整備等について講演いただきます。

## 【講義】「子ども達の体力低下とスポーツ環境」



**富田 寿人氏** 57歳  
日本スポーツ少年団常任委員、活動開発部会長、リーダー養成WG委員  
静岡理工科大学総合情報学部教授  
日本体育学会、日本体力医学会、日本運動生理学会所属  
早稲田大学教育学部卒業、順天堂大学大学院体育学研究科修了  
早稲田大学教育学部助手を経て現職  
〔専門〕 運動生理学、体力学

1985年からショートトラック・スピードスケート選手の強化育成に携わり、長野オリンピックで多くのメダリストを輩出。また、日本スポーツ少年団では常任委員として指導者やリーダーの育成に努めるとともに、これからのスポーツ少年団として、対象年齢の拡大や多様化するニーズへの対応、家庭との連携や女性団員の獲得、女性指導者の育成等に取組んでいます。

本研修会では、近年子どもの体力が低下していると言われていの中で、体力の有無や運動能力の優劣に関わらず、誰もがスポーツを楽しむことのできるスポーツ環境の整備にあたり、スポーツ少年団や学校等その活動に携わる者の役割について講義していただきます。

## 【研究協議】「子ども達の体力維持・増進とその取組み」

**大島 朗氏** 稚内潮見が丘小学校校長

子ども達の体力が低下していると言われる中、校内にて実施の体力テスト結果に基づく全道・全国の数値と同校児童との比較からその優劣についてご紹介いただくとともに、体力の優劣に関わらず学校という同じ環境の中で活動する子ども達に対し、体力の維持・増強をさせるために日頃実践している取組みについて発表していただきます。

**池田 光彦氏** 稚内水泳スポーツ少年団指導者

将来を見据えた計画的指導により、全国大会出場の常連団体として大舞台で活躍する団員が多数輩出されていますが、全ての団員が優れた体力や泳力を有しているわけではありません。同じ少年団の中で優秀な成績を収める団員、また記録があまり伸びない団員もそれぞれの目的に向かって努力していますが、その環境づくりや指導方法等指導者の日頃からの取組みについて発表していただきます。